7月29日(水)第25回裁判

120名 傍聴席を満席にして 私たちの願いをアピールしよう

最後の裁判になりました O時開廷

大阪地方裁判所の 202 号大法廷前 伊藤事務局長、宮崎さんがいます。



6月25日、第24回裁判の報告集会

二 め ス 登 ○ に べ 録 ネルじ タショ レダイ スし いオ たメン ックの トた 被新 肺 訴 の弁バ公 訟あ八 西 在たア 規を

込みです。 春に を迎 は判決が出れ 九 日 に泉面 月に $\dot{+}$ 一人国 山される見になり、来一日に結審を書間を終る。

<u>٦</u> j 玉 被害がで 害を 戦の 知前 弁 か論らを って を防たる

目

出

す

る

予

大阪じん肺アスベスト弁護団団長 願じ いめ

五十 芝原

明

て件難 や半をち団 一の間に約:0若い弁護・コメンバーで さて、息さて、息 新 法認定 対企業訴訟を遂行しい全国初の国賠や五 護士 が 4 七 分名のの り、

> 尋問 護

は、

寸

席

で

対

なりました。
こえ、理不尽な被害に る内に 容

回す余現アす禎問目。す物ス。代と 物スで代表 す ス 南九 写 八寺間では、八寺間では、門市民の会の 終了後になく明れ ら像 を 人のの カコ 実 に 泉尋 使 柚本 態 南問 L 0 尚 人 を、 ま 7 で

ることができた を講じてこ カュ \mathcal{O} 0 です。 朝

3 効な策を講り もすす 毎 口 傍 り聴泣席 玉 原側 で 告 き を がも 追 本 す聞 人 弁 11 橋の シカ の三か所で宣伝伝知メラ前、天満矮朝八時半から梅田 田 \exists 淀ド屋バ



しセ日にも

大阪泉南地域の

アスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会

せる公立

第7号

2009. 7. 20

連絡先

泉南地域の

石綿被害と

Tel. 072-483-4981

Fax. 072-484-0641

市民の会

午後2時 天満研修センターにて

広げていくために十月三日 (土)午後二時 天満研修センターで大きな集会を予定し これまでの裁判を振り返る でだれでもわかる元気の出る であとするよう準備を進めて な画とするよう準備を進めて と かくこめて 及府民全体の し 月の結審にも 十月 定修三み

てるどる

(予定)

三〇万人署名を二〇〇九年秋までに

首都圏土建の期待とこの上ない贈り物に応えて 必ず大阪で、 15万署名をやり遂げよう

すにのこのかタ 阪請メ 。重責と責に本全し行し 阪請メじ建国る社 め組賠 要任が任な社くま動カニ合を、多と追建をりの不よに一百か闘アく 対誠た。大本名らうスは一 な及材認 つにメめ改応実 挙社が原首 て決 一さめがな 告都ス阪 い定力せ て 明ク ての建を圏トにの

らボ

と賠もさ が裁先ん首 決判行は都 です 的勝るそ土 だ利泉の建 す南たの るのめみ 何こ国にな

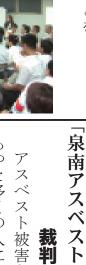
ま的 一る国

全体で二十二 、ださい 万 以 上の -五万五 署 ました。 名 千 気で を 届



族の「大阪行動」組合二百名の原生国賠を闘う首都圏 告圈 土

家圏



師)、 な被害に遭 にしました。 スト問題とは 春 論 つと多く スベ \mathcal{O} ②泉南市民の会柚岡一 3 ス 訴 部構成です。 1 つ \dot{O} に向けて 内容 たの 人に 被害と加害の **裁判の記録を残し今後のステップに** 何 か、 は、 なの 知ってほ 1 わか か 小さな小道 9 原告数名の手記 月 りやすく伝える「本」 どんな人が、 原点を問うこの裁判のことを、 1 禎代表 日, 11 の意見書、 かもがわ出 大きな武器にしたいと思 そんな思いから、 どん +病気の な状況の中で、 ③宮本 版から刊行予 を出版すること 解説 憲

(水嶋

潔

矢

先生

泉南ア

ス

どん

ŧ

0

す。

乞うご

期

聴席を満席にし 11 11 まで 最後

午前だけでも、 午後だけでもぜひ。傍聴に参加してください

ELUXETICM.

来要材は土のあ本

六

任は万、のた。 をじの少皆。し 任は万

惨 「禍を」 国 問う 仮 を出版

予

定